

ARTS for HOPE

宮城支局活動報告書 2017年6月18日

「仙台市 仙台市福祉プラザ」

Special Project

視覚と聴覚に障がいをお持ちの方が集まる『みやぎ盲ろう児・者友の会』へ初めて訪問しました。スペシャルプロジェクトとして、紙粘土にアロマを垂らして、嗅覚と触覚を楽しめる内容にしました。当初申し込みがあった人数より少なめの参加者となりましたが、その理由をきいて初めて知った盲ろう者を取り巻く現実。ぜひ、一人でも多くの方に、現状を理解してもらいたく広めてもらいたいと強く語っていたので、ここにもアップしたいと思います。当日、同行お願いできるヘルパーさんが確保できず、この会にくるのにすごく勇気がいったけれど、知人をお願いして、何とか来られてよかったあ！と到着早々、嬉しそうに話してくださった方、盲導犬とともに参加された方、中には、介助さんとの都合がつかず、来ることをあきらめた方もいたようでした。弱視難聴者、全盲難聴者、全ろう全盲者、アッシャー症候群（感音性難聴と網膜色素変性）と、見え方と聞こえ方が様々であり、コミュニケーションもまた異なります。生まれつき盲で後から聞こえなくなった人は指点字、生まれつき聴覚に障がいを持ち、あとから見えなくなった人は、触手話などの会話でやり取りをしています。年取って見えなくなり、聞こえにくくなった方には、近くにいて、補聴器に話しかけてサポートするなど、コミュニケーションもまた様々なので、介助者も、ニーズにこたえて対応しています。今日は、参加者とその介助者も一緒に楽しんでもらおうと、粘土も多めに用意。実に充実した2時間となりました。20年ぶりに紙粘土を触った！アロマいい匂い～！どんな形にしようかな～、片手が効かないけれどサポートしてもらえて自分の作品が出来て嬉しい！どこで粘土買えるの～と和気あいあい。バラを作ろうと、花びらに挑戦したけれどもうまく行かず、スタッフが簡単に出来るバラの作り方を教えたところ、すぐマスター、いくつものバラがあっという間に出来て、とても美しい作品がうまれました。それをみて、皆もやってみたい～と薔薇ブームに。とても楽しい会となり、終わる頃には皆さん笑顔がいっぱい。なかなかこういった経験がないので、また次回もぜひ！と感想をいただき、再会を約束し、別れの時間を惜しんだスタッフ一同でした。



素敵なバラたち！



イニシャル
だよ



